

以下、本文-----

複数施設研究用

【情報公開文書】

**本邦における1cm以上のバレット食道の存在を予測するための
スコアリングモデルの構築**

1. 研究の対象

2021年10月～2022年3月の期間に本荘第一病院でドック健診を受診した約2,000名
2022年4月～2022年6月の期間に市立横手病院でドック健診を受診した約1,000名

2. 研究目的・方法

食道腺癌は欧米で多い疾患ですが、近年本邦でも食道腺癌が増加してきていることがわかっています。バレット食道は、食道腺癌の前癌状態として重要であり、欧米では既にバレット食道の存在を予測するためのスコアリングが開発され、そのスコアをもとにハイリスク群を抽出して内視鏡検査を実施する試みがなされています。今後本邦の胃癌が減少していくことが予測され、現在2年に1回行われている胃内視鏡検診が全員に行われることはなくなっていくと考えられています。そうした時に、健診受診者の一般情報からハイリスク群を抽出できるようなスコアリングを確立することは、適切に内視鏡検査推奨の症例を拾い上げるために有用であると考えられます。

本荘第一病院、市立横手病院で健診データベース、電子カルテを用いて匿名化したデータを抽出し、秋田大学医学部付属病院でデータの解析・検討を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2025年6月30日

3. 研究に用いる情報の種類

健診受診者の一般情報：

以下の項目について健診データベースから匿名化して抽出します。

- ・ 性別
- ・ 年齢
- ・ 身長・体重
- ・ 腹囲
- ・ 喫煙・喫煙の状況
- ・ ヘリコバクター・ピロリ菌感染の状態(未感染, 除菌後, 現感染)
- ・ 胸焼け症状

内視鏡写真の再判定:

以下の項目について再判定します.

- ・ 逆流性食道炎
- ・ 食道裂孔ヘルニア
- ・ バレット食道
- ・ 萎縮性胃炎

4. 外部への情報の提供

秋田大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対照表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学・神経内科学講座 渡邊 健太
本荘第一病院 小松 大芽
市立横手病院 藤盛 修成

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

秋田大学大学院医学系研究科
腫瘍制御医学系 消化器内科・神経内科学講座
渡邊 健太
〒010-8543 秋田市本道1丁目1-1
電話番号:018-884-6104(消化器内科・神経内科学講座医局)
FAX 番号:018-836-2611(消化器内科・神経内科学講座医局)

研究代表者:

秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科・神経内科学講座
渡邊 健太

-----以上